株式会社 介護ＮＥＸＴ
https://kaigo-next.com

認知症は介護で治して利用者のＱＯＬ向上を目指す

2018

FEATURE

02

自立支援特化型デイサービス「ＧＥＮＫＩ ＮＥＸＴ」を全国展開している株式会社介護ＮＥＸＴ。中重度の要介護者と認知症の方の自立支援をサポートする新業態や取り組みについてお話いただきました。

◆株式会社 介護NEXT
代表取締役 副社長
大場隆幸 さん

介護ＮＥＸＴの事業形態と強み

介護ＮＥＸＴは、群馬県内ではデイサービスと有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、居宅支援事業所の事業を展開しています。軽度要介護から中重度および認知症、そしてターミナル期の方までの在宅生活の継続と、入居施設での看取りまで含めて対応しています。その中で要介護度が軽度の方は自立支援特化型で短時間のデイサービス「ＧＥＮＫＩ ＮＥＸＴ」、要介護度が中重度および認知症の方は「健康サポートげんき」、そして来春から一時宿泊のついた「健康サポートげんきプレミアムケア」を群馬エリアで進めていきますので、要介護度中重度および認知症の方へのサービスがより手厚いものになります。

要介護度が軽度の方を対象にした「ＧＥＮＫＩ ＮＥＸＴ」では、在宅生活を継続する為の自立支援に重きを置いて、自立支援における再現性の高い機能訓練プログラムを特徴としています。個別性を重視した機能訓練プログラムと、パーソナルケアを取り入れて個々の体の可動域や運動機能をメンテナンスして改善へ導きます。当然、身体機能の改善は、最終的にＱＯＬ（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に繋がります。個別のアセスメントを深めながら、その方のストーリーをしっかり仕立て、利用者さんとご家族、ケアマネさん、福祉職の方と連携を取り、運動機能だけでなく、その方の生活の質から尊厳を守るというところまで、しっかり関わって身体機能の改善を実現するということが、特徴であって強みです。

それに伴い、今年からは体力測定データだけでなくＡＤＬ（日常生活動作）のデータをバーサルインデックスを用いてスコア化して、３か月に１回の測定を行っています。併せて、「ＧＥＮＫＩ ＮＥＸＴ」では認知症の早期発見と予防のために株式会社トータルプレインケアが開発した「脳活バランサー CogEvo」をプログラムとして導入しました。これにより見当識・注意力・記憶力・計画力・空間認識力の５つの認知機能が分かりやすく可視化でき、認知症発症の恐れがあれば、ご家族、ケアマネジャーにデータをフィードバックさせていただき、さらに主治医の先生までデータをお渡しできればと考えています。

ターゲット層を中重度と認知症に特化

「健康サポートげんきプレミアムケア」では、要介護度中重度と特に認知症をすでに発症されている方へ対してのサービスに特化をしています。なぜ、要介護度中重度および認知症ケアに特化したサービスを開発したかというと、中長期的に見て、２０２５年の地域包括ケアシステムの構築の中で、要介護度が軽度の方のみを対象としたサービスだけでなく、あらゆる状態の方に対しても在宅生活を維持していただくサービスを提供する責任があるだろうと。要介護度中重度の方、特に認知症の方に対するサービスは、すでにグループホーム等がありますが、サービス拠点やご利用者様・ご家族様の生活環境に対しての市場ニーズに応えきれていない現状があるのではないかと考えています。そこで要介護度中重度および認知症のご利用者様、ご家族様ニーズをくみ取れるサービスを突き詰めていった結果、必然的にご家族のレスパイトも取り込んだサービスを作ることになり、一時宿泊を付けることにしました。お泊りデイサービスのガイドライン上は１か月程度の連泊は認められていていますが、あくまでも通所のサービスであり、一時的な宿泊お預かりというニーズにお応えしていきたいと思っています。中長期的に見てもビジネスモデルとして非常にニーズの高いものができたと自負しています。

認知症の利用者様に対するサービス内容は、前述の脳活バランサーで中核症状に対する５指標の測定を行い、これを元にプログラムの設定をしていくのがデイサービスの一連の流れになっています。「ＧＥＮＫＩ ＮＥＸＴ」とは違う、中重度や認知症の方に効果の高い運動プログラムを別途形成しております。「ＧＥＮＫＩ ＮＥＸＴ」では３か月ごとの見直しを行いますが、１か月ごとにアセスメントの見直しを入れて、脳活バランサーのスコアを見ながら、再評価を行って、主治医やケアマネジャー、ご家族に対して状態のフィードバックをしていく、という流れができています。

一時宿泊に対しては、お食事の提供とプライバシーを重視した個室でゆっくりしていただきます。夜勤専従者を１名配置し、直営店１号店となるプレミアムケア上尾原市では、直営の訪問看護ステーションと連携をして24時間ケアの体制を取っております。今後群馬エリアでは、地域の訪看連携を入れながら24時間対応が可能なサービスへの調整をしています。

この「プレミアムケア」の特徴は、認知症の方に対するスタッフの対応力が高いことが一番のポイントです。業界でも広がりつつある「ユマニチュードケア」という手法は、ケアを受けるご利用者様と１人の人間として向き合う事から生まれる認知症ケア。

「見る」「話しかける」「触れる」「立つ」という４つの柱を基礎とした１５０を超えるユマニチュード技術を取り入れる事で認知症のご利用者様の不安や恐怖を和らげ、結果として無表情だったご利用者様に笑顔が戻り感謝の言葉を頂くなどの改善が見られる技術です。弊社には専門の教育担当者がおり、定期的にスタッフ向け研修を実施しています。

ＦＣ展開でノウハウ提供と運営サポート

群馬県内で認知症と中重度に特化したデイサービスは数少ないと思います。今後「プレミアムケア」という業態での出店を加速し、ノウハウを提供しながらフランチャイズでの店舗展開を計画しています。また「プレミアムケア」の出店に合わせて、訪問看護ステーションの併設も検討しております。10月からは「ＧＥＮＫＩ ＳＵＮ」という訪問医療マッサージの直営展開を加速させていく予定です。居宅と通所と訪問で、地域の方々の在宅生活を維持していただくためのサービス領域を広げていこうということです。訪問医療マッサージについては医療保険の事業ですし、対象となる方はどちらかというと重度で、病院に通うのも困難な方に対してのサービスになります。こちらも、ゆくゆくはフランチャイズ展開をしていくつもりですが、長年グループで経営してきた「げんき堂整骨院」の技術力を移植し、グループ内でシナジーを出していきたく、まずは直営での展開を加速していく予定です。群馬エリアでは来春の着手となりますが、直営店舗として来年３月までに９～10店舗を一気に出店する予定です。

「プレミアムケア」に関して、私たちのフランチャイズ店舗が増えるのは喜ばしいですが、他の事業者さんが増えるのも一つの狙いです。そもそも提供するサービスが介護保険に沿っているわけですから、業態自体がサービス化されることはあまりないと考えており、本来はサービスとして差別化されるべきだと思っています。スタッフの対応力などが事業所ごとの差別化になってくるのではないでしょうか。仮に群馬県内で認知症対応型で、お泊り型デイサービスが増えれば、各地域のニーズが高かったという裏付けにもなります。できる限りノウハウは独り占めではなく、メディアに取り上げていただいてビジネスデルも遺憾なくお話しさせていただいてますので、どんどん各所に広がるといいですね。特に１店舗から少数店舗を経営されている既存の事業者さんに対して、こういったビジネスモデルとノウハウを提供することによって協賛できることもあると思うので、積極的にアライアンスを組んでいきたいと考えています。